

公益社団法人 島尻青年会議所 2020年度 社会開発委員会

社会開発委員会 委員長 佐久本幸奈

<p>現 状 分 析</p>	<p>昨今、貧困問題はマスメディアでも多く取り上げられ社会問題となっており、なかでも子供の貧困率は全国平均16.3%、沖縄が29.9%と全国より高い事が分かる。子供の貧困の原因にはひとり親家庭の増加や所得格差など、その原因は多岐にわたる。 親への対策（児童扶養手当、生活支援）や子供への対策（子供食堂、学習支援）など 国の制度や各自治体、企業の支援はあるが、貧困によって奪われた子供達の「可能性」を創造する必要がある。また、沖縄県の一般世帯数の1世帯あたり人員は2.53人と世帯数及び世帯増加率がともに年々増加しており核家族化が進んでいる。それらは大家族内にいた非労働人口（祖父及び祖母など）が担っていた子育てや介護といった地域コミュニティーを失わせ核家族の少ない人数でそれらを負担しなければならない状況を作り出しており、地域との関りが薄れる一因となっている。地域コミュニティー活性化への一助とすべく、「地域と繋がる・繋げる」場の創造が必要です。</p>
<p>目指すべき状態</p>	<p>沖縄県の子どもの貧困格差がなくなっている状態 沖縄県の子ども達が事業を通して、自立心が向上している状態 地域コミュニティーが活性化した状態 青年会議所の存在意義が周知されている状態</p>
<p>連 携 概 要</p>	<p>① ■子供の貧困をなくす事業■ 県内の子供達を対象に食を通して経済の流れを学び、自身の自立心を向上させることで貧困への周知と意識変革、さらには経済発展を目指す。 ② ■地域と繋がる・繋げる事業■ 地域住民を対象に島尻JICが積極的に運動を行いJIC運動への理解と協力を得られる状態をめざす。より多くの地域住民と触れ合える環境を創造し、未永く地域と繋がり相乗効果を生み出せる団体であり続ける。</p>
<p>S D G s</p>	<p>1. 2. 8. 12. 17</p>
<p>政 策 手 法</p>	<p>■子供の貧困をなくす事業■ 1. 県内の子供達を対象に事業（運動）を行う 2. 経済の流れや本質を学び自立心を向上させる 3. 貧困率の全国平均と県内平均の格差を解消する。 ■地域と繋がる・繋げる事業■ 1. 地域住民を巻き込んだ事業（運動）を行う 2. 食を通して地域住民と繋がり、発展に寄与する 3. 青年会議所と地域が共に学び、一丸となる事業を行う</p>
<p>カ ウ ン タ ー パ ー ト</p>	<p>飲食店関係者、行政機関、県内報道機関、教育機関、経済団体</p>